

感染症発生状況

平成 29 年 7 月 13 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成29年7月3日（月）～7月7日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,566名です。

この週の延べ欠席者数 366名

1日あたりの延べ欠席者数 73名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 75名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（150名）、咳（34名）、下痢（26名）、体調不良（24名）

疾病ごと 感染性胃腸炎（17名）、風邪（12名）、突発性発疹症（10名）、

溶連菌感染症（8名）

夏風邪症候群の発生が推測されます。ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、また症状が軽く「風邪」としている子もいるでしょう。突発性発疹症、おたふくかぜにもご留意ください。

【症状別の発生状況】

感染性胃腸炎 玉山、河北地域で増加しました。厨川、河南地域で減少しました。

突発性発疹症 河北、河南地域で増加しました。

風邪 厨川、河北、盛南地域で微増しました。河南地域で微減しました。

溶連菌感染症 厨川、都南地域で増加しました。河北、盛南、河南地域で減少しました。

【県の状況（6/26～7/2）】

咽頭結膜熱は前週より増加しました。今年は例年よりも多い状態で推移しているため注意が必要です。発熱、咽頭炎、結膜炎を主症状とするウイルス感染症で、飛沫感染のほか、患者の眼や顔に触れた手や物を介しても感染します。タオルの共用を避けること、石けんと流水による手洗いを行うことが重要です。

溶連菌咽頭炎は、中部、釜石、二戸地区及び盛岡市で多くなっています。発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症で、肺炎や腎炎などの合併症を引き起こす場合もあります。手洗いやうがいをしっかり行うこと、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、中部地区で注意報値（定点当たり患者数3人）を超えた状態が続いています。耳下腺の腫脹や発熱を主症状とするウイルス感染症で、髄膜炎や難聴等の合併症を引き起こす場合もあります。ワクチン接種による予防が効果的です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】